

令和4年10月吉日

熱海高校ヨット部OB及びOGの皆様へ
熱海高校ヨット部顧問経験者の皆様へ

昭和61年度卒業 山田秀幸（現コーチ）

熱海高校ヨット部OB（OB、OG）会について

熱海高校は昭和23年度から男女共学となり、昭和26年、初代顧問であられました大橋先生のもと、ヨット部が創立され、現在のOB及びOGは232名、ヨット部を率いた顧問の先生方37名にもおよび、また、その他、熱海の海において関係された方々により、現在の熱海高校ヨット部が存在します。

日頃、熱海高校ヨット部に対し、御支援と御尽力を賜り、現役部員及び顧問の先生に代わりお礼申し上げます。

インターハイ出場において、ヨット部後援会会員として、御寄付をいただきましたヨッティングワールド様、(有)海遊社様、(株)宇田水産様、(株)スパ・マリーナ様、熱海観光建設(名)様へ改めてお礼を申し上げますと共に、皆様へ報告いたします。

さて、近年の熱海高校ヨット部にあっては、コロナ禍によるインターハイ（IH）及び国民体育大会（国体）の中止や、本年度の熱海高校入学者数47名（近年約100名）の厳しい状況と、顧問の先生方の総入れ替え（新任）、静岡県立熱海高校の会計年度任用職員制度導入による現監督の就任などの変化がありましたが、1年生4名の入部、2年生4名で活動しております。また、3年生においては、IH12位（47艇中）、国体6位入賞（33艇中）と、参加艇数の違いはありますが、近年においては、高成績を残してくれました。

つきましては、学校予算も年々減額となる現状等を踏まえ、今後の熱海高校ヨット部OB会について、次のとおり決定いたしたく、御理解、御承認、御協力いただきますようお願い申し上げます。

1 OB会の趣旨

熱海高校ヨット部の活動費用の補助（非営利活動）を主たる目的とし、主な内容は会則案のとおりです。

なるべく多くの方々に、熱海高校ヨット部の現状を御理解いただき、また、高校生活をヨットに掛けた思いから、御賛同いただきますようお願いいたします。

皆様の御協力があって成り立つものとなります。

また、次に御承認いただく役員もほとんどがボランティアで活動しております。

現役の生徒においても、礼節を重んじる、物を大切にする等の指導は、先生方と協力して対応しておりますが、個人の失礼な対応となることもあり、お気づきの点がありましたら、会長兼コーチを担う私、山田秀幸へ直接お申し出をいただきますようお願いいたします。

OB会のメンバーには、IHで高成績をあげた方、IHで目標に届かなかった方、予選通過できなかった方、部員が少なく参加もできなかった方など、様々な方々により成り立つこと

を念頭に、現役高校生、顧問の先生及び役員へのバックアップをお願いいたします。

2 OB会役員について

長きに渡りOB会長に就任されておられました小山様及び幹事の神戸様におかれましては、御尽力を賜り改めてお礼申し上げます。

1年以上前に小山会長から、今後のOB会長の重責を担うよう話がありました。

熱海高校ヨット部の歴史からすれば、まだまだ若輩者ではありますが、現役時代からお世話になった思いから、ヨット部の存続、現役選手の安全及び高成績に繋がるよう努めて行きたいと思っております。

ついては、次の新体制について、皆様の御承認をいただきますようお願い申し上げます。

会長(案) 山田秀幸 (昭和 61 年度卒業) 兼コーチ(現)

会計(案) 鷺尾大吾 (平成 17 年度卒業) 兼コーチ(現)

監督(現) 高梨成太郎 (昭和 63 年度卒業) ※熱海高校令和 4 年度会計年度任用職員

相談役(新) 山田茂次 (昭和 55 年度卒業、熱海市ヨット協会)

相談役(新) 壘 秀昭 (昭和 57 年度卒業、伊東市ヨット協会)

セーリングアドバイザー 山田 吾朗

※ 山田吾朗様は、元 470 ナショナルチーム (クルー) で、現在は葉山や江ノ島を中心にヨットの指導、大会運営等の活動をされています。

3 OB会費について

2年を超えるヨット部に関する文書報告を行わなかった事、お詫び申し上げます。

先に述べましたとおり、IH等が行われなかった事、ヨッティングワールド様からの艇及びセール御寄付により、OB会費からの購入が見込まれなかった事、また、熱海高校ヨット部を支える上で、OB会費の必要性等を精査しておりました。

その結果を次のとおり報告いたします。

必要経費

(1) 過去にOB等が使用していたシーホッパー等の処分 (個人所有を除く)

現在、艇庫の屋上に固定しております艇体内、学校の備品ではない艇を安全上の問題もあり処分が必要です。裁断処分も行いましたが大変な作業となります。

過去に処分費用を見積もったところ、4~5万円/艇かかります。

なお、必要に応じて譲渡することも可能ですので、その旨お申し出ください。

(2) 定期的なセール購入

近年の 420 級のセールの素材が良い代わりに、シワにより切れやすく、2~3年で公式戦では使用できない状況にあります。

ノースセール 約 28 万円 ウルマーセール 約 25 万円

(3) 熱海高校在校生の減少に伴うヨット部の学校予算減少への補完

IHや国体において、高成績を残すためには、熱海での練習のみではなく、420級の一般の大会(420選手権大会等)への参加により経験を積むことが必須であります。

遠征には、生徒は公共交通機関の利用が徹底され、艇の運搬も業者に委託しております。

しかしながら、学校の予算では、公式戦 (IH、国体予選、新人戦) 以外は、年間遠征 5 回、ただし、片道分のみとなっており、部員からも月 5,000 円の部費を集め、更

には、監督コーチ陣が艇（支援艇はほとんど）を運ぶこともあります。

また、物を大切にすることを徹底と、ヨット部経費の見直しを行っていますが、老朽化を止めることは出来ず。

一般の大会の開催場所により経費は変動しますが、不足が確実に見込まれます。

なお、コーチ陣の遠征費用、その他雑費を含み、高梨監督の理解のもと、昨年度までは、スポーツエキスパート制度(年間約16万円、個人収入)、今年度は会計年度任用職員制度による監督の収入(給与)から補填していただいております。

公式戦以外の参加希望の大会等

420選手権（全日本、東日本、東海、関東）、中部オープン（海陽）、
YMF S（三ケ日）、クリスマスカップ（江ノ島）、海の甲子園（西宮）等のほか、
県連三ケ日合宿（1～3回）

本年度の遠征実績及び参加希望（令和5年度東海予選：三ケ日）

5月 中部オープン（海陽）【一部学校予算】

7月中旬 東日本420選手権大会（津）【断念】

下旬 関東420選手権大会（葉山）【3月末予定が延期3年生のみAJOC名で参加】

8月 海の甲子園（西宮）【国体強化につき県連予算】

10月 東日本420選手権（江ノ島）【断念】

（以降の希望）

12月上旬 県チャンピオンシップ（沼津）

12月下旬 全日本420選手権（津）【一部学校予算】

1月 お正月カップ（海陽）、県連合宿（三ケ日）

2月 節分カップ（海陽）、県連合宿（三ケ日）

3月 YMF S（三ケ日）、県連合宿（三ケ日）

【過去の状況から】

以前のOB会費は年間5,000円/人、熱海高校ヨット部の歴史に反して、30名程度の方々のみ、また、書面による報告で通信費もかかっておりました。

そこで、現在、LINE「熱海高校ヨット部OB会」には、60名以上の方々（OB・OG以外のヨット部関係者を含む）が登録されており、最新情報など詳細も掲載しております。

つきましては、今後、新たなホームページ（HP）及びLINEを活用して、ヨット部の詳細情報の報告等を行って行き、書面による報告等を行わないことといたします。

インターネットに精通されていない皆様におかれましては、大変恐縮ですが、役員、知人等より情報収集を行っていただきますようお願いいたします。

情報収集先として、拠点を海遊社内とし、相談役を熱海、伊東ヨット協会関係者といたしました。

また、御負担いただくOB会費は引き続き5,000円とし、前記負担を徐々にまかなっていきたく思います。

なお、前記(1)～(3)の負担の状況の変化、実際の総年会費より、御負担いただく金額は見直して行きたいとも考えております。

会費御負担のお手続きは、皆様それぞれの方法により、会則に定めます口座にお振り込みいただきますようお願いいたします。

お振り込みにあたり、御名前と卒業年度を御入力いただきますよう併せてお願いいたします。

その他、領収書は発行いたしかねますので、あらかじめ御承知おきください。

4 LINE「熱海高校ヨット部OB会」への参加について

以上の理由から、今後、インターネットによるHP、LINEによる対応が主体となります。

LINEは会員、賛助会員専用です。御参加される時には、卒業年度及び氏名（賛助会員は氏名）を教えてください。

なお、インターネット環境の無い方につきましては、大変恐れ入りますが、日頃お付き合いのある方々や、上記OB会役員へ直接御連絡いただきますようお願いいたします。

前記【過去の状況から】御理解いただきますよう合わせてお願いいたします。

5 コーチ等の担い手について

人それぞれヨット(部)への思いがあると思います。

「ヨット(部)、海が好きである。」それだけの理由があれば、その後コーチになれると思います。

私の経験から、「楽しく乗りたい」＝「上手になりたい」＝「勝ちたい」及び「後悔」の思いからヨットを続け、経験者から情報を収集して、見て、基礎基本に組み込み、経験を積み重ねてきました。

「仕事のストレス解消のため」でも、ヨットを楽しんでください。先ずはそこから。

毎週来れるとは考えていません。コーチ3、4名で情報共有しながら、交代で指導にあたっていただくのが、現状の良い形態と思います。

もちろん、思いを持ってコーチを引き受けていただける方も大歓迎です。

以上を踏まえ、別紙のとおり「熱海高校ヨット部OB会規約」(案)により、運営して行きたいと思いますので、御承認いただきますようお願い申し上げます。

誠に勝手ながら、5分の1の不承認の御連絡がないことをもって、御承認いただいたものといたします。

事前内容確認(承認)者

監督、コーチ、相談役(新)、
現顧問の先生方

連絡先 〒413-0102

静岡県熱海市下多賀 1410-6

ブルークレール熱海 202

山田 秀幸 電話 090-2346-6354

E-mail hideyuki-yamada.com13560@docomo.ne.jp

事務局 〒413-0102 静岡県熱海市下多賀 1401-11 有限会社 海遊社 内